

孫文、山田良政・純三郎関係資料補遺

今泉潤太郎 佃隆一郎 藤森 猛

標題の資料については、さきに「孫文、山田良政・純三郎関係資料について」(「愛知大学国際問題研究所紀要」97号、92年)として発表した。

このなかの書簡類は95年8月マイクロフィルムにおさめ、すでに本学豊橋校舎図書館において閲覧に供している。

その後の整理作業の結果、今回は(1)書簡類では山田純三郎関係の残り全てを整理分類し目録とした。また山田順造関係のうちで山田順造氏自身がまとめたものを目録とした。(2)資料ファイル類では新たな確認分を追加し目録とした。また、800点の写真類は初歩的整理をおこない、写真裏に記されてあった説明文を書きおこした。

ここに補遺として発表するのは(1)と(2)である。なお(2)の資料ファイルF88「山田純三郎年譜」をあわせて発表することとした。

以上の整理において、(1)は文学研究科院生佃隆一郎氏が中心となり、中国研究科院生武井義和、迎清英、高橋茂雄、章関連、文学研究科院生林美茂の各氏、(2)は中国研究科院生藤森猛氏がそれぞれ担当した。

(1) 書簡類

純三郎関係の書簡類は前回の追補をおこなった。また、あらたに順造関係の書簡類を設けた。

目録の構成はさきの命題分類を踏襲したが、単に形態別、年代別にまとめるにとどめたものもある。

前回の補遺であることを明確にするため、通し番号はNo. 601より起こした。うち、No. 674まではマイクロフィルムのリール番号と不一致である点に留意されたい。この「補遺」中、マイクロフィルム化されていない書簡は、通し番号をNo. 775から起こしたことに留意されたい。また順造関係は独立させ、No. 1より起こした。

内容面では、純三郎関係では、犬養毅、上原勇作ら日本の政治家・軍人や、蒋介石、張群ら中国国民党要人のものが含まれること、順造関係では特定の友人や研究者との長期にわたる書簡など、父や伯父の足跡を記録に遺すことへの執念が窺えるものが多い。なお、順造関係の書簡類は未整理のものが多く、整理完了までには相当の時間を要する。

山田純三郎関係書簡類

前回分1～28にひきつづき、以下を追補する。

なお、前回分のNo. 1の点数を20、No. 7の点数を25と訂正し、No. 13とNo. 14の標題にそれぞれA、Bを加え、No. 15にAを加え、No. 22～26の標題をC、D、E₁、E₂、Fに改め、No. 27の標題にBを加える。また、No. 24E₁とNo. 24E₂の点数をそれぞれ17と訂正する。

あらたに追加するものは次のとおり。(「 」つきの題は順造の命名)

- | | | |
|------------------------------------------------------------|------------|-------------|
| 29. 山田繁栄宛書簡、純三郎より (1928年頃) 8点。 | 番号601～608 | * 撮影済 |
| 30. 純三郎関係書簡①「故友の書翰」(1934年～1937年) 21点。 | 番号609～629 | * 撮影済 |
| 31. 純三郎関係書簡②「上原元帥、犬養木堂、犬塚信太郎諸先生書翰」(1920年頃) 4点。 | 番号630～633 | * 撮影済 |
| 32. 純三郎関係書簡③中国人より (1927年～1947年) 11点。 | 番号634～644 | 撮影済、コピー含む |
| 33. 純三郎関係書簡④その他、追加A (多岐) 12点。 | 番号645～656 | 撮影済 |
| 34. 純三郎関係書簡⑤「山田純三郎宛来翰 大正時代」(1917年～1920年) 11点。 | 番号657～667 | * 撮影済、コピー含む |
| 35. 純三郎関係書簡⑥「山田純三郎宛来翰 昭和時代」(1929年～1941年) 5点。 | 番号668～672 | * 撮影済、コピー含む |
| 36. 純三郎関係書簡⑦「山田純三郎の手紙」(戦後) 2点。 | 番号673, 674 | * 撮影済 |
| 37. 純三郎関係書簡⑧「張溥泉、鄒海浜同志 外重要書類 昭和21年以降」
(1946年～1948年) 8点。 | 番号775～782 | ファイルB-65 |
| 38. 純三郎関係書簡⑨純三郎逝去弔辞、台湾より (1960年) 16点。 | 番号783～798 | ファイルD-34 |
| 39. 純三郎関係書簡⑩「山田純三郎関係資料」(多岐) 3点。 | 番号799～801 | * |
| 40. 純三郎関係書簡⑪「日露戦争従軍時 浩蔵宛純三郎端書」(1905, 6年) 12点。 | 番号802～813 | * |
| 41. 純三郎関係書簡⑫その他、追加B (1935年～1959年) 26点。 | 番号814～839 | (840～850欠番) |
| 42. 浩蔵～純三郎期ファイル (19, 20C) 32点。 | 番号851～882 | |

*印を付したものは日本語。

山田順造関係書簡類

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 書簡A (1954年～1960年) 7点。 | 番号1～7 |
| 2. 書簡B (1979年) 19点。 | 番号8～26 |
| 3. 書簡C (1981年～1986年) 8点。 | 番号27～34 |
| 4. 「来信 順造宛返事」(1988～1991年) 21点。 | 番号35～55 ファイルA-146 |
| 5. 「友人の手紙」(1982年～1990年) 17点。 | 番号56～72 ファイルA-244 |
| 6. 「友人からの通信」(1982年～1989年) 19点。 | 番号73～91 ファイルB-29 |
| 7. 「昭和50年以降 来信等」(1983, 84年) 13点。 | 番号92～104 ファイルB-75 |
| 8. 「山田良政資料」(1986年) 1点。 | 番号105 ファイルB-91 |
| 9. 「未整理資料」(1988年) 3点。 | 番号106～108 ファイルE-40 |
| 10. 「来信綴」(1982年～1987年) 9点。 | 番号109～117 ファイルE-65 |
| 11. 書簡D (1959年～1965年) 19点。 | 番号118～136 |
| 12. 書簡E (1978年～1991年) 33点。 | 番号137～169 |
| 13. 書簡F (1978年～1990年) 17点。 | 番号170～186 |
| 14. はがきA (1958年～1965年) 21点。 | 番号187～207 |
| 15. はがきB (1978年～1990年) 42点。 | 番号208～249 |
| 16. 書簡控 (1985年～1992年) 31点。 | 番号250～280 全点コピー |
| 17. 台湾より、年賀状等 (1979年～1989年) 19点。 | 番号281～299 |

山田純三郎書簡類・追補分

(1) 書簡類

通し 番号	リール 番号	差 出 人	受 取 人	日 付	内 容
601	706	(南京?) 純三郎	繁	1928?12.12	*領事館で床次竹二郎と写真をとり、その後、戴天仇や胡漢民、蒋介石、劉紀文らを訪問

602	705	(青島・グランドホテル?) 純	繁栄	(1929) 4. 26	* 呉鉄城や藤田総領事と会ったことや、孫文移靈祭に参加することの報告
603	707	純三郎	繁	3. 3	* 漢口での広西派の動きや、山東省での張宗昌の反革命軍結成状況といった、中国での内戦再開の気配を詳述
604	701	(青島・グランドホテル) 山田純三郎	(東京・本郷) 山田繁栄	5. 2	* (封筒のみ)
605	704	(具滋) 純	繁	7.	* 上海生活の寂しさを述べている
606	702	純三郎	◇	25	* 東京へ帰れないことへのわび状
607	703	◇	◇	30	* 日本の対支政策失敗を批判し、新政策をたてる以外方法はないと考えている
608	708	◇ ?	繁栄?		* 東京における新聞合同の件は、松井中將や小村公爵ら各省、各方面の賛成、援助を得られた
609	709	(参謀本部) 磯谷廉介	(麹町区有楽町) 山田純三郎	1934. 8. 4	* 春岱寮にての面会願ひ、菊池ら4名同席予定
610	716	(北平・北池子大街) 大倉組 北平出張所	◇	1934. 9. 25	* 「満洲ニ於ケル日本農業移民ニ対スル機械的補助並ニ国防遂行上必要ナル機密費調達ニ関スル私案」
611	721	(京城・青葉町) 佐佐木四方志	(上海・狄思威路) ◇	1934. 10. 12	* 挨拶文及び「日本及日本人」掲載記事送付通知
612	714	(東京・経綸社) 平山 関	(◇) ◇	1935. 2. 20	* 鄧慕韓からの返書が届いた(写し在中)こと等の報告

613	710	(東京・経綸社) 平山 関	(上海・狄思威路) 山田純三郎	1935. 10. 28	* 1911年の武昌革命時の「日本及日本人」付録の原文(中国語訳における削除分)原稿送付願ひ
614	712	(〃) 〃	(〃) 〃	11. 17	過去の日中関係(国交阻害)を遺憾としている
615	720	(東京・豊島区目白) 岡野猪吉	(〃) 〃	1935. 7. 11	* 「時局打開」のための面談願ひ、各人の近況
616	711	(東京・芝区新橋) 萱野長知	(〃) 〃	1935. 11. 9	* 同盟会成立、国旗選定、ソ連共産党?、ラッセル博士との関係についての質問の回答
617	718	(東京・渋谷区宮下町) 津田香眷子	(〃) 〃	1936. 2. 28	* 純三郎が東亜同文会の求めに応じて手記を送ったことへの礼状
618	725	白岩龍平	(〃) 〃	1936. 6. 9	* 近況報告
619	717	(東京・芝区田町) 犬塚 輝	(上海・江南晚报社) 〃	1936. 8. 27	* 胡漢民死去以来、中国の西南政府は混沌
620	713	(東京・小石川区音羽) 菊池謙二郎	(上海・上海雜誌社) 〃	1936. 9. 22	* 雑誌「上海」送付礼状及び近況報告
621	724	(京城・青葉町) 佐々木四方志	(上海・狄思威路) 〃	1936. 8. 30	* 日本人2名が南京政府の者によって殺害された
622	728	(東京・牛込市谷) 浅田良逸	(〃) 〃	1936. 11. 3	* 上海で世話になったことへの礼状
623	726	(東京・世田谷区玉川) 佐藤 脩	(〃) 〃	1937. 1. 20	* 長男の同文書院受験に際しての挨拶

624	723	「世話人」(サイン付)	(上海・狄思威路) 山田純三郎	1937. . 2	*「山田老選暦賀会」出席依頼
625	729	(東京・杉並区和田) 斎藤 恒	(〆) 〆	1937. 2. 27	*孫、黄、陳其美らは既に亡く、李烈鈞、居正、陳信らが残っているのみで寂しくなった
626	715	河原行海	(〆) 〆	1937. 8. 4	*日中関係悪化を悲観し、中国側の抗日姿勢を非難する一方で、日本側の責任と対処の重要性を主張
627	722	(上海・狄思威路) 龍蔭公館	(〆) 〆	1947? 8. 12	東京との郵便連絡の際の注意事項
628	727	書院一友	(〆) 〆	1. 30	*見舞状
629	719	石射猪太郎	(〆) 〆	6. 26	*贈物送付通知
630	730	犬塚信太郎	〆	① . 5. 31 ② . 6. 19 ③19?. 12. 6	*①現況では2個師団の希望実現難 *②戴天仇よりの来電内容(日中親善のために政治組織確立が必要) *③贈物礼状
631	731	〆	上原大将	9. 2	*中国南方派に長年協力してきた純三郎を紹介したい(山田純三郎が同信を持参)
632	733	(東京・四谷仲町) 上原勇作	(東京・東中野) 山田純三郎	1920? 2. 23	*挨拶及び犬塚の手紙の送付通知
633	732	(東京・四谷南町) 犬養 毅	(東京・牛込横寺町) 〆	1. 21	*孫文の手紙を読んだことや、日中関係への「遺恨」の意など
634	740	許 崇智	(虹口・赫司克而路) 〆	1927? 2. 24	東京の党支部の馬彬らの手紙(士官学校生徒の一部受験できず)について、純三郎に助力を求めている

635	738	吳 忠信	(海寧路・江南晚報) 山田	1927? 6. 18	張溥泉の上海到着日時間合わせ
636	741	唐 総司令	(上海・海寧路) 〃	1927? 10. 11	挨拶及び近況報告
637	739	張 群	(上海・秋思威路) 山田純三郎	1929. 5. 14	自動停刊中の江南晚報は純三郎とは無関係であることは明らかとしている
638	734	梁 鴻志	(漢口・漢中街) 〃	1939. 5. 8	礼状及び今後の指導を請うている
639	744	黄 朝琴	山田	1940～41	蔣緯国名刺在中
640	743	中央党史史料 編纂委員会	山田純三郎	1946. 9. 10	孫文関係史料貸与願
641	742	(北四川路) 馮 自由	〃	1947. 6. 7	面会願い、各人消息、中央党史会 所長紹介 メモ(黃花崗蜂起生残りについて) 1 枚付
642	736	(〃) 〃	〃	1947. 10. 2	①辛亥革命展覧会展示品貸与願 ②上海市教育局訓令 計 3 点 ③名刺 2 通(陳博明、辛亥革命同志会)
643	737	張?	(上海・虹口文路) 山口純三郎	. 26	本庄が上海に到着したことの確認
644	735	伍 澄宇	(純三郎)	1928?	山東出兵の日中両国への影響は非常に大きく、問題解決の方策は 両国人民による
645	747	純三郎	両親	1900. 9. 7	* 山田良政の福建・台湾への旅行についての考えや、自分が南方 への旅行を周囲の反対で思い止めたこと等を報告

646	749			1920. 12. 9	*「命名、順造」へその緒付き
647	755	郡嶋忠次郎		1925. 3.	「敬事 孫中山先生仙遊」
648	751	(北京・東交民巷) 本庄 繁	(上海・虹口・海能路) 山田純三郎	1926. 7. 17	*国民党有力者を紹介してくれたことへの礼状、許崇智・張継・居正・謝持・鄒魯らについて
649	752	(東京・赤坂区青山) 吉田増次郎	(上海・狄思威路) シ	1937. 3. 1	*日中間の問題の根本原因は相互の侮蔑感にあるとし、孫文未亡人(宋慶齡)の発言に憤りを示している
650	754	陳 群	山田	1940. 9. 5	*1000元送付通知
651	746	(小田原市) 楠本実隆	(東京・亜細亜復興会) 山田純三郎	1955. 4. 30	*アジア復興には中国大陸の共産勢力を駆逐すべきだが、情勢は望む通りには進んでいない
652	748		(東京・杉並区西高井戸) シ	1955. 9. 22	*「刊草」在中
653	756	劉 紀文	(上海・江南晩報) 山田	12. 20	*蒋介石よりの1000元送付の通知
654	750	純三郎			*「父の遺墨」、見舞札や近況報告
655	753	金子克己	佐々木・山田		*伝記編さんに関する状況、材料
656	745				*「山田正純之遺書」

657	765	(東京・渋谷町) (一戸) 兵衛	(上海・法界・泉龍路) 山田純三郎	1917. 2. 5	* 第一次大戦の米国参戦や、日本が中国と協力して東洋のドイツ勢力を一掃することの必要性
658	766	芳川寛治	〃	1917. 9. 25	* 兵器、軍需品引渡し代金整理委任状
659	758	(長野・上諏訪) 宮崎虎蔵	(東京・東中野) 〃	1919. 12. 6	* 純三郎の所へ行ったがあいにく不在だったことの通知
660	761	(東京・芝区) 犬塚信太郎	(〃) 〃	1919. 12. 12	* 宮島大八が面識のない蒋介石と面会を望んでいることに対し、純三郎に仲介を頼んでいる
661	760	(東京・下高田村) 宮崎虎蔵	(〃) 山田純三郎・ 菊池良一	1919. 12. 31	* 芳川や塚原と会えたことや、山田を訪問したこと(→No. 660)及び近況報告
662	757	(〃) 〃	(〃) 山田純三郎	1920. 3. 3	* 菊池は普選派の急先鋒なので、選挙は大丈夫だろう、先日のお願いの催促
663	763	犬塚信太郎?	〃	5. 20	* 陳(名不明)の死去への追悼文
664	762	(神戸市) 薩摩屋	犬塚	11. 15	* 蒋介石のことで相談したいので神戸から帰京するようにとの要請及び病氣見舞
665	764	(蔣) 介石	奥様	12. 3	* 犬塚の病氣への見舞文
666	767	(一戸) 兵衛	山田	12. 11	* 挨拶文、一戸は軍人か?
667	759	(東京・高田村) 宮崎虎蔵	(東京・東中野) 山田純三郎・ 菊池良一	12. 20	* 急をお願いしたいことがあるのでお会いしたい

668	770			1929. 5.	*「老上海会」会員名簿
669	768	(東京・渋谷区) 白岩龍平	(上海・狄思威路) 山田純三郎	1935. 12. 30	*陳其美や唐有壬、才常の死への悼みや、近衛の近況報告、宗方小太郎の漢詩を同封
670	769	(青森・南津軽郡) 宇野海作	(*) 〃	1936. 2. 2 ほか	*礼状、近況報告、計2点
671	771	(東京・霞山会館) 岡野増次郎	(*) 〃	1936. 2. 22	*「対支先覚者伝記編纂会」資料収集への協力に対する礼状
672	772	(愛媛・喜多郡) 林 清勝	(上海・日本語学校) 山田純三郎	1941. 9. 25	*辛亥革命に協力した日本人への追悼、感謝式を行う計画を汪政府が持っていることに対し感謝を表している
673	774	(東京・練馬区関町) 山田純三郎	(東京・大田区) 末永 節	①'54. 11. 30 ②'54. 12. 9	*①「同奥会」時代のことを伺うべく会見したいとの願い状 *②“政変”で会見を来春まで延期してほしいとのわび状
674	773	(京都・山科区) 桑山美津子	(東京・練馬区関町) 山田順造	1989. 12. 5	*「孫文と横浜展」本送付礼状及び“伯母”の思い出(順造分類ママ)
775		①王光漢 ②保衛団 ③	①山田 ②〃 ③(〃)	① 3. 12 ② 4. 21 ③'46. 5. 11	①良政と純三郎の功績により、日本人居留区内での純三郎の自由を保証 ②純三郎の家を保護 ③家屋の純三郎貸切通知
776		張 継	(上海・狄思威路) 山田純三郎	1946. 7. 6	孫文関係の資史料、党史会への貸与願
777		(中央宣伝部対日 文化工作委員会) 羅 克典	〃	1946. 10. 7	写真送付願
778		中国国民党 中央 党史史料編纂委員 会	山田	1947. 2. 7	「革命史蹟展覧会」開催に際しての史料貸借願

779		覃 勤	(上海・滬陽路) 〃	1948. 10. 14	孫文の夢であったアジア復興事業の継承を誓っている
780		諸 綾綺	山田純三郎	3. 12	手紙礼状及び純三郎の文の「中日同盟」への掲載を祈念
781		(南京) 何 佩実	山田	6. 16	純三郎帰京の確認及び岡村(寧次?)の病状を尋ねている
782			(上海・滬陽路 (旧狄思威路)) 山田純三郎		* 「新中国報社」 封筒のみ
783		(中央信託局東京弁事処) 陳 恵夫	(東京・練馬区関町) 山田 忠	1960. 2. 20	純三郎死去への弔文
784		(台北) 何 応欽	(〃) 山田純三郎遺族	1960. 2. 20	* 〃
785		(台湾・南投中興新村) 梅 嵩南	(東京・杉並区西高井戸) 〃	1960. 2. 20	〃 純三郎との思い出
786		(台北・博愛路) 張 居	(東京・練馬区関町) 山田順造	(1960) 2. 20	* 〃
787		沈 如茨	(〃) 〃	(1960) 2. 20	〃
788		(国民党中央第三組) 鄭 彦葉		1960. 2. 21	〃 純三郎と国民党・政府との友好関係
789		(台北) 谷 正綱	(東京・練馬区関町) 山田純三郎遺族	1960. 2. 22	〃

790		大阪中華民国総領事	(東京・杉並区西高井戸) 山田 忠	1960. 2.22	* 純三郎死去への弔文
791		(台北・中山北路) 劉 兼吾	(〃) 山田純三郎の家族	(1960) 2.22	純三郎死去への弔文、中国革命や中日友好への貢献の賛辞
792		(中央信託局東京弁事処) 周天健・周天翔	(東京・練馬区関町) 山田	1960. 2.23	〃
793		廖 承志	(東京・杉並区西高井戸) 山田 忠	1960. 2.23	〃
794		ジンニョドウ	(〃) 山田純三郎遺族	1960. 2.23	〃
795		中国国民党横浜支部	(〃) 山田 忠	1960. 2.23	* 〃
796		(台北・木柵溝子口) 陳 固亭	(東京・練馬区関町) 山田順造		〃
797		(台北) 中央委員会(張群ら)			〃
798					* 弔電、花環、弔文差出人のリスト
799		宗方小太郎			* 「送浦敬一之伊犁之語」
800		(上海三井洋行) 山田純三郎	(東京・京橋区万朝報社) 古嶋一雄	1912. 1.26	* 新政府と三井物産との借款問題の難行

801		(福岡市南区) 進藤一馬	(東京・杉並区) 阿部 弘	7.26	* 玄洋社での孫文資料収集の状況報告
802		(鉄嶺) 山田純三郎	(陸奥国弘前市蔵主町) 山田浩蔵	1905. 10. 27	* 一昨日鉄嶺に来て、明後日奉天に帰り、新民屯に出張する予定とのこと (軍事郵便)
803		(奉天) 〃	(〃) 〃	1905. 11. 3	* 七日大連経由で安東県に出張することや、奉天の寒さについて記した天長節祝い状 (軍事郵便)
804		(関東州民政署) 〃	(〃) 〃	1905. 11. 10	* 七日に奉天を出て大連に着き、明日船で安東に行く、十二日付書簡を受け取ったことや、大連の様子等 (軍事郵便)
805		(韓国・龍巖浦) 〃	(〃) 〃	1905. 11. 13	* 韓国龍巖浦に上陸の記念として、両親にあてたはがき
806		(朝鮮国・龍巖浦) 〃	(〃) 〃	1905. 11. 14	* 大連湾より安東県に出張した時の第一大湖丸船中の光景
807		(清国・安東県) 〃	(〃) 〃	1905. 11. 15	* 昨日午後に船にて安東に着いた、日本商人の様子について
808		(韓国・大同江畔) 〃	(〃) 〃	1905(?) 11. 19	* 平壤に行く途中、大同江を渡る時に、花が満開であった (軍事郵便)
809				1905(?) 12. 12	* 六日、新民屯に行き一昨日帰營、十六日金州に行ってから旅順開城記念の正月を宇野海作と迎える考え (軍事郵便)
810		(関東州民政署) 陸軍通訳 山田純三郎	(青森県・弘前市蔵主町) 山田浩蔵	1906. 1. 4	* 明朝旅順から金州に帰り、二十日頃乗船、昨夜は一戸将軍と飲み語り合った
811		(金州) 山田純三郎	(陸奥国・弘前市蔵主町) 〃	1906. 1. 9	* 金州城を離れ大連へ行くので、調査委員と別れる事になった

812	(柳樹屯) 山田通訳	(陸奥国・弘前市蔵主町) 山田浩蔵	1906. 1. 16	* 明後十八日に神戸に向けて出帆することになった、今朝金州で司令部に加わり閣下と行軍した
813	(神戸市山本通) 山田純三郎	(々) 々	1906.1(?) .22	* 今朝、讃岐丸にて上陸、明後日頃司令部とともに金沢へ凱旋するつもり
814	(弘前市・蔵置町) 佐藤要一	(中国・上海・狄思威路) 山田純三郎	1935. 9. 23	* 病気(中風)治療に際し純三郎からの送金に感謝するとともに、慎一郎からも治療費を受けたことや、選挙戦の様相について
815	(上海) 山田純三郎	水谷長三郎	9. 9	* 計三点 (内容は一点目に記、整理用封筒付)
816	馬	(海甯路・江南晩報館) 山田		* (封筒の表をコピー)
817		中央党史史料 編纂委員会	1946. 9.	* 「中山先生ニ関スル記念物中央党部ニ提出」借用目録
818	(熊本県・菊池郡) 信 岡徳	(東京・杉並区) 山田純三郎	7. 25	* 長尾から手紙が来たこと及び自らの近況の報告、純三郎帰国直後のころか?
819			1950. 元旦	* 「清藤唯七君珍藏 孫中山先生遺墨」(下書きか、「上海日本語専門学校」便箋使用)
820	(東京・杉並区) 山田純三郎	(船橋市・宮本町) 山田順造	1953. 8. 12	* 近況報告と順造病気への見舞い及び喜代からの手紙の2通
821	(静岡・加茂郡) 々	(東京・練馬区) 々	1957. 2. 16	* 静養先における近況報告
822	(伊豆片瀬温泉) 々	(々) 々	1957. 2. 20	* 資料は全て国民党に寄付した、中山会帳簿にある日本共産党員に対する批判、自身の中共行き辞退の経緯

823		(伊豆片瀬温泉) 山田純三郎	仲 麓	1953.	* 孫文の「真」と「偽」に関する判断の良さをうたっている
824				1954. 7. 22	* 純三郎ほか26名出席、観光園にて開催
825		東亜同友会 (主催)		1954. 11. 15	* 「緒方竹虎氏慰労懇談会出席者芳名」銀座新雅にて開催、裏面にメモ書込アリ
826		(東京・中央区) 読売新聞社資料部	(杉並区・西高井戸) 山田純三郎	1954. 11. 19	* 写真借用礼状
827		(福岡・浮羽郡) 中村泰口 (切取)	(東京・練馬区関町) 〃	1957. 1. 1	* 年賀状
828		(東京・新宿区) 木村篤太郎	(〃) 〃	1957. 1. 1	* 年賀状
829		岩井伊口 (切取)	(〃) 〃	1957. 1. 1	* 年賀状
830		(横浜・中区) 堤 芳雄	(〃) 〃	1957. 1. 3	* 年賀状
831		(世田谷局消印) 横田 山口 (切取)	(練馬区関町) 〃	1957. 1. 3	* 年賀状
832		(東京・杉並区) 菊池豊吉	(〃) 〃	1959. 1. 1	* 年賀状
833		(東京・千代田区) 垂細亜友之会	(〃) 〃	1959. 7. 6	* (封筒のみ)

834		(中国国民党駐東京直屬支部) 張 属生	(東京・杉並区) 山田純三郎	1959. 11. 6	* 孫中山の誕生記念会への招待状
835		(中華民国駐日大使館) 宋 地伺	(練馬区・関町) 々	1959. 12. 21	* 手紙とりんごをもらった事への礼状
836		楊 虎	々		「玉昆金交」と書かれた紙一枚のみ在中
837					* 見舞い状への礼状及び近況報告。上海での純三郎の評判にもふれている(後半欠)
838					* 伝言四点(「叔父」、悦子、民子、順造、伊都子の名)
839					* 「民国元年冬 於上海六三亭」 * 「民国十六年冬十二月 於上海月迺家花園」 (写真人物説明図)
851		(山田良政)			* 金の入用についての手紙(断片)
852		① ②浩蔵 ③四郎	①父、親 ②四郎 ③純三郎		* (封筒のみ)③は純三郎の北海道室蘭炭鉱会社時代のもの
853					* 浩蔵(純三郎の父)の歌
854		(青森・鯉ヶ沢)	孫		* 佐藤の出発に対する理解や、家の留守について念を押している
855		①(東京) ②(東京・神田)浩蔵	①清彦・純三郎・四郎 ②(青森・弘前)山田清彦	②1885.5.31	* ①祖母上京の際迎えに行く通知 * ②祖母を東京見物に連れて行った報告

856		①(青森・弘前)菊池九郎 ② ③九郎	①(東京・芝区)菊池良一 ② ③良一	①18?. 5. 5 ② ③ 5. 4	*①弘前での祭り等について *②純三郎・菊池良一らの支払金リスト *③金の分配や計画事業の進展及び十郎の子が来たこと等
857		(青森・菊池方) 山田清彦	(青森・弘前) 山田純三郎	1887. 12. 7	*青森に到着した通知
858		(静岡・沼津) 菊池九郎	(東京・牛込区) 〃	8. 20	*純三郎の中国への出発に際し、道中の無事を祈るとともにピロードの生地を買って帰るよう依頼
859		東海(勇蔵)	山田	2. 12	*余寒見舞及び近況報告 (東海は純三郎の東奥義塾時代の友人)
860				1904. 12. 11	日露戦争での旅順包囲軍の様子
861					戦争の様子を記した漢詩文3篇
862		①(東京・神田)清郎 ② ③西松二郎	①四郎 ② ③山田浩蔵	① 10. 5 ②'27. 2. 14 ③	*①看板の書き方について *②清彦との面談 (いずれも写し) *③紹介状
863					*小泉将軍の歌
864					*〃
865			(東京・新橋) 菊池良一	6. 5	*故郷の父の相手をしてくれたことへの礼状(菊池の勤務先は日本物流会社)
866		(駐京日本公使館附武官) 本庄 繁	李 烈鈞	10. 15	*東京に設立された振武学校(本庄は振武義会評議員)留学案内と各軍官写真の送付願い

867		(純三郎)	蔣介石	1948. 12. 5	* 蔣介石への儀礼的わび状及び、別れの挨拶(下書き)、封筒に「上海引揚前夜」とあり
868		◇			* 華中青森県人会の代表に対する訓示要項 (下書き)
869		(青森・弘前市) 工藤十三雄	(東京・杉並区西高井戸) 山田純三郎	4. 8	純三郎帰郷の際の、社交クラブでの講演・座談の依頼
870		(参謀次長) 菊池慎之助	◇	1922. 11. 8	* 病気見舞金受取願 (菊池は参謀本部代表、在広東駐在武官)
871					* 「話題 孫文を中心とした日中関係 便箋3枚」
872		伴 佳雄	純三郎	12. 1	* 上海滞在中、純三郎の公私万般に亘る厚情に対しての感謝(半紙)
873		長谷川寿夫	山田純三郎	12. 1	* 挨拶文及び今月中に出獄出来る
874		福田良三	◇	12. 1	* 純三郎一家帰国に対する感慨無量の心情及び入獄中、純三郎の好意に感謝
875		(戦犯監獄内) 磯谷廉介	◇	① 11. 28 ② 12. 1	* ①純三郎帰国に際し、今の自分の心境を述べている * ②差し入れへの礼状、又東京の留守宅へ行ってほしいとのこと
876		◇			* 恰似測明独楽時 相海戯橋と記された絵 (封筒所在不明)
877				12. 1	* 梅花と松が描かれている (文章もあり)

878			1948. 11. 30	*「援護費明細書封書」
879				*「就任慶祝式典参列」便箋3枚 蒋介石に関する項目が7つ記されている
880				*東北地方出身者は精神的にも強く、海外発展のため強くならねばならぬこと、東北出身の兵隊は強い
881				*第三革命の時、青木宣純中將は上海にて後継者をさがし、磯谷廉介中將をそれとした、彼は有名な中日連盟論者である
882				*東京で孫文を盗み見し、後に南京同文書院に入学、そして上海で正式に孫文に面会した

(*印は日本文)

山田順造関係書簡類

通し 番号	差出人	受取人	日付	内 容
1	(東京・千代田区) 東京都建築局	(東京・杉並区西高井戸) 山田順造	1954. 1. 27	住宅建設資金貸付に関する契約書
2	(東京・中野区) 芹田工務店	山田	1954. 8. 9. 11月	領収書3点
3	(神奈川・逗子市) 林 俊夫	(東京・練馬区関町) 山田純造 (印)	1955. 5. 13 消印	書簡返事、純三郎の病気にもふれる

4	(神奈川県・逗子市) 林 俊夫	(東京・新東亜交易KK) 山田順造	1956. 10. 6	「中華新聞」相談願
5	①三菱商事KK ②新東亜交易KK	①新東亜交易KK ②〃大阪支店	①1954. ②1956.6. 1 ③1957.7. 8	①不動産売買契約証書 ②沼津寮借用について ③金銭消費貸借契約公正証書(正本)
6	新東亜交易KK 福岡支店	(総務部) 山田順造	1960. 8. 9	取引先の人と順造との関係問合せ
7	陳 恵夫	(台湾・成功湖旅社) 〃	11. 21	面会依頼
8	(愛知・豊川市) 磯 千春	(東京・練馬区関町) 〃	1979. 4. 27	前年の高雄会忘年会写真(在中)送付
9	(東京・練馬区) 有岡俊介・純子	(〃) 〃	1979. 6. 11	結婚通知
10	(東京・世田谷区) 門田耕成	(〃) 〃	1979. 7. 17	順造のおかげで北村への見舞や横須賀の歓迎会ができたとする礼状
11	(東京・新東亜交易KK) 結城四郎	(〃) 〃	1979. 8. 30 消印	上海会開催の案内
12	(〃) 〃	(〃) 〃	1979. 9. 6 消印	上海会会員名簿作成のためのカンパ願
13	新東亜交易KK	(〃) 〃	1979. 10. ?	結城四郎退職記念品のカンパ願
14		(〃) 〃	1979. 8. 31 消印	「好的会」開催通知(赤坂局消印)

15	(長崎市) 間 元章	(東京・練馬区関町) 山田順造	1979. 10. 4 消印	同窓会出席通知
16	(〃) 〃	(〃) 〃	1979. 10. 19 消印	永田、上京のお知らせ
17	(北九州市) 河東忠司	(〃) 〃	1979. 10. 16 消印	依頼断り状
18	(財)霞山会	(〃) 〃	1979. 10. 18 消印	午餐講演会案内
19	(東京・町田市) 旭健康医療機器 販売KK	(〃) 〃	1979. 10. 24 消印	事務所移転ならびに謝恩奉仕価格の案内
20	(大阪・浪速区)	(〃) 〃	1979. 11. 2 消印	息子の結婚の際世話になったことへの礼状 (差出人名サイン 原文 中国語)
21	(鎌倉市) 原 知広	(〃) 〃	1979. 11. 8 消印	高雄会パーティー出席及び諸費拠出依頼
22	(新宿・新興貿易KK) 熊谷宏通	(〃) 〃	1979. 11. 9	台湾宛連絡文(陳沢楨の依頼)原稿送付
23	(東京・中央区) 外政研究会 東京政経研究会	(〃) 〃	1979. 12. 7	合同懇談会並びに総会の案内
24	(東京・文京区) 日本信販KK	(〃) 〃	(1978~79)	クレジットカード送付
25	小川一郎	山田	8. 23	順造の手紙(転職や新居建築を記)への返事

26	(東京・杉並区) 伊都子	山田	12. 29	順造の病気を心配
27	(中華民国・台北市) 蔣 緯国	(東京・練馬区関町) 山田順造	1981. 12. 17	順造らの台湾訪問、「恵夫兄」の松茸送付に対する礼状
28	(東京・世田谷区代田) 賀屋正雄	(〃) 〃	1982. 12. 10	品物(歳暮か)送付礼状
29	(長崎市) 長崎文献社	(〃) 〃	1984. 3. 27 消印	出版物案内
30	(財)霞山会・東亜学院 東亜文化研究所	(〃) 〃	1984. 4. 3	研究会案内状
31	(東京・千代田区丸ノ内) 反田商事株式会社	(〃) 〃	1984. 4. 10	夜桜見物の案内状
32	(東京・杉並区) 藤野 格	(〃) 〃	1985. 12. 28	滬友長崎県人会の写真(二枚)送付
33	(東京・台東区) 全生庵	(〃) 〃	1986. 1. 1 消印	行事案内と「法光」正月号
34	(〃) 〃	(〃) 〃	1986. 3. 10 消印	行事案内と「法光」春号
35	(熊本県・菊池郡) 蔵居良造	(〃) 〃	1988. 12. 9	近況報告、日中関係の歴史や孫文・蒋介石の事蹟を伝えることの必要性を訴える
36	(東京・港区新橋) 梁漱溟先生追悼会 事務局	(〃) 〃	1988	「梁漱溟先生追悼小集」案内

37	池田安正	山田順造	1989. 4	旅行記を書き上げたことを報告
38	山田順造	土門義男	1989. 6.22	近況報告
39	〃	保野仁一	1989. 6.22	伝記の仕事の現況を報告
40	(青森・弘前市) 相沢文蔵	(東京・練馬区関町南) 山田順造	1989. 7.11	中元送付に対する礼状
41			1989. 8	残暑見舞、一年間の近況報告
42	中下正治	阿部 弘	1989. 8.14	1900年時の中国情勢の図表同封、東奥義塾の山田良政に対する影響について
43	山田順造	藤井昇三	1989. 9.12	藤井健一長男、藤島健について述べる
44	〃	藤島 健	1989. 9.12	藤井昇三に対する感謝
45	村岡正之	山田順造	1989. 9.30	宮田に題賛してもらった観音図を謹呈とある
46	(東京・目黒区) 石井栄子	(練馬区関町) 〃	1989.11.20 消印	(封筒のみ)
47	(靖霊神社正覚志士資料出版会) 村上 武	(練馬区関町南) 〃	1990(?)5.17	〃

48	(埼玉・川口市) 林 俊夫	(東京・練馬区関町南) 山田順造	1991. 1. 14 消印	長文の返書に対する礼状
49	(東京・江戸川区) 高綱博文	(〃) 〃	1991. 2. 6 消印	会食招待に対する礼状
50	山田順造	片倉芳和	1991. 2. 15	資料送付礼状
51	相沢文蔵	山田順造	3. 9	資料収集に関する助言
52	〃	〃	3. 22	陸羯南四女ともえについて
53	〃	〃	7. 20	山田家の歴史編集に対する助言
54	〃	〃	8. 10	〃
55		阿部		阿部が順造に転送した書翰、山田純三郎の明治33年時の中国民衆観に対する疑問
56	(埼玉・川口市) 林 俊夫	(練馬区関町) 山田順造	1982. 5	(封筒のみ)
57			1984. 8	小論文「蒸し返された教科書検定 無邪気な自己批判」
58	(東京・港区) 石川義吉	(練馬区関町南) 山田順造	1988. 9. 16	(封筒のみ)

59			1988. 10	靖国神社秋季大祭案内
60	(長崎市) 永田万寿良 『寿仁会』	(東京・練馬区関町南) 山田順造	1989. 3. 1	(封筒のみ)
61	若松茂夫	〃	1989. 12. 18	自己紹介
62	(東京・港区) 石川義吉	(練馬区関町南) 〃	1990. 7. 19	孫文・三民主義を見直すことの必要性について
63	杉山経男		1990. 7. 23	「御会葬御礼 杉山家」
64	原 恭三	山田順造	2. 19	17日の合同同窓会の模様を伝える
65	岡	〃	2. 24	夫人への見舞い
66	〃	〃	3. 24	前年4月、中央工作会議席上に於ける陳雲の談話について述べる
67	(奈良市) 波多野善大	(練馬区関町南) 〃	4. 29	順造からの質問への返書、東洋文庫近代中国研究室本庄比依子を紹介
68	岡田直子	〃	8. 6	太田守之助の著作中の山田純三郎関連の部分をコピーして同封、とある
69	西本克三	〃	10. 17	順造の手紙へのお礼と意見及び「中国研究所」設立趣意書

70	岸信和	山田順造	10.23	旅行中、世話になったことに対する礼状
71				蓮の実会会報 「蓮の実会前後一井上學磨」
72				「北国の旅—十期大谷弥十郎」
73	(東京・多摩市) 阿久津房治	(東京・練馬区関町) 山田順造	1982. 10. 24	全生庵東方斎忌不参加通知
74	山田順造	幅館卓哉	1985. 11. 28	入院中の門田耕成への見舞願い (控?)
75	(宇都宮市) 岩淵欣一	(練馬区関町) 山田順造	1986. 1. 15	寒中見舞、近況報告
76	(東京・町田市) 森原文雄	(*) 々	1986. 1. 18 消印	「復興アジアの志士群像」送付と全生庵追悼会内容の通知
77	山田順造	松村 宏	1986. 9. 10	松村が純三郎に会った時の話を書いてもらいたい (控?)
78	湯浅之夫	山田順造	1987. 4. 7	純三郎の思い出を語り山田兄弟の中国革命への貢献を称賛
79	(東京・中野区) 渡辺 元	(練馬区関町) 々	1987. 4. 12	王府井への招待の礼状及びその場で借りた山田兄弟の事跡関係史料への感想
80	①②とも 山田順造	①湯浅之夫 ②長谷川伸一	1987. 4. ?	①上海同窓会の書簡等送付への礼状 ②滬友39号江頭数馬の論壇への感想、意見 (控)

81	(堀友会) 大串俊雄	(東京・練馬区関町) 山田順造	1987. 8. 26	白岩龍平(故人)所持の書簡(東方斎、加藤高明ら)入手を伝え、純三郎の中国問題意見書をコピーして送付
82	(日本断裁KK) 奥田 勝	(〃) 〃	1987. 10. 8	見舞電話への礼状
83	(川崎市宮前区) 土門義男	(〃) 〃	1987. 12. 27	日経流通新聞記事(12月5日付、小坂哲郎対談)切抜送付
84	山田順造	土門義男	1988. 1. 1	No. 83への礼状、山田兄弟記念館設立計画や資料整理について (控?)
85	(神奈川・三浦郡) 頭山統一	(練馬区関町) 山田順造	1988. 3. 19	頭山満、山田純三郎関係史料送付への礼状、感想、頭山の対重慶工作や当時の日本の和平工作への考察も記
86	山田順造	頭山純一	1988. 3. 24	No. 85を読んで、これまでの自らの頭山満感の誤りに気づいた旨を伝えている (控?)
87	(東京・三鷹市) 菊池昭一	(練馬区関町) 山田順造	1989	いとこ会写真送付
88	佃正道	〃	1.	「中華週報」バックナンバー送付と近況報告
89	相沢晃子	山田夫妻	5. 14	訪問、夕食招待への礼状
90	田中玲瓏	山田順造	12. 16	石射猪太郎著書の中の純三郎関係箇所コピー送付
91	(広島市中区) 湯浅之夫	(山田順造?)		年賀状、前年の中国旅行を報告

92	(千葉・四街道市) 志村宗光	(東京・練馬区関町) 山田順造	1983. 1. 1	年賀状
93	(青森市) 竹内芙蓉	(〃) 〃	1984. 8. 10	暑中見舞
94	(練馬区長) 田畑健介	〃	1984. 9	故、正純への叙勲通知
95	(東京・世田谷区) 幅館卓哉	(練馬区関町南) 〃	1984. 11. 6	竹田と共に門田の見舞いに行ったことの通知
96	(東京・中正堂会館) 馬 樹礼	〃	1984. 11. 13	中国国民党建党90周年パーティ招待状
97	(東京・世田谷区) 石田武男	(練馬区関町) 〃	1984. 11. 14 消印	(封筒のみ)
98	(東京・港区) 中山学会日本総会	(〃) 〃	1984. 11. 16	「中華民国開国史実研討会」出席依頼状
99	(東京・世田谷区) 竹田秀太郎	(〃) 〃	1984. 11. 16 消印	多摩墓参写真送付、門田見舞い通知
100	(熊本県・中国研究所) 西本克三	(〃) 〃	1984. 11. 26	(封筒のみ)
101	(東京・世田谷区) 石田武男	(〃) 〃	1984. 11. 29	純三郎についてのことを順造に知らせた際、お礼を贈られたことへの礼状及び滬友会の使命についての相談願
102	(東京・亜東関係協会) 馬 樹礼	(〃) 〃	1984. 12. 6	贈り物礼状

103	芙蓉	山田順造	5.28	近況報告
104	幅館卓哉	(東京・練馬区関町) 〃		私事や門田入院について
105	山田順造	田中玲瓏	1986. 1.28	原子、佐藤慎一郎との史料のやりとりや、旧軍と東亜同文書院との関係についての所見 (控)
106	阿部 弘	(山田順造?)	1988.7.11/14	外務省外交史料館やアメリカ議会図書館での史料収集について (複写申込、送付依頼状)
107	(熊本・菊池郡) 蔵居良造	(練馬区関町南) 山田順造	1988. 7.23	暑中見舞、近況報告
108	相沢文蔵	〃	7. 4	近況報告
109	(青森市) 竹内芙蓉	(練馬区関町) 〃	1982. ① 7.30 ② 8. 1	①鳴海家との関係、大連時代のこと、純三郎の思い出など ②7.30付夕刊掲載の長政に関する記事を送付
110	(大阪・吹田市) 上野慎一	(〃) 〃	1984. 8.28	順造来阪時の写真送付
111	(青森市) 竹内伸太郎	(練馬区関町南) 〃	1984. 8.28	依頼された資料調査の報告、コピーの送付
112	杉本之男	〃	1985. 8.21	父親などの中国にいた頃の写真送付に対する礼状
113	①? ②村上 武	〃	1987. ① 4.11 ② 5.15	①簡保センターの通知：転送 ②靖垂神社祭典出席に対する礼状、「回光」同封

114	(新東亜交易総務部) 黒作宗次	山田順造	4.22	前島純夫入院の通知
115	山田順造	蔵居良造	8.11	霞山会による「続々対支回顧録」編纂の必要性を述べる
116	〃	竹内伸太郎	8.30	調査結果のコピー送付に対する礼状
117	山田 忠 イツ	山田順造 悦子	12. 2	純孝のハワイでの挙式の写真送付並びに近況報告
118	(台湾・新生南路) 陳 恵夫	山田順造	1959. 11. 9 着印	娘が渡米途中に東京に寄るので、会ってくれるよう依頼
119	(東京・杉並区) 玉村工務店KK	(東京・練馬区関町) 〃	1960. 2. 6 消印	台所模様替、物干場増設の見積書及び図面
120	杉山龍丸	山田純三郎遺族 山田順造	1960. 2.19	山田純三郎死去に対する弔文
121	(千葉・市川市) 加藤謙一	(練馬区関町) 山田順造	1960. 12. 19	寄付及び贈物に対する礼状
122	(東京・新宿区) 早稲田大学図書館	(〃) 〃	1961. 10. 20	「日中関係史料展」への出品協力に対する礼状
123	(神戸市・東灘区) 己斐平二	(〃) 〃	1962. 2. 18	純三郎三回忌に当たり、冥福を祈っている
124	(神奈川・横須賀市) 志村光治	(〃) 〃	1962. 10. 23	陳恵夫の誕生日調査の報告・意見

125	(神奈川県・横須賀市) 志村光治	(東京・練馬区関町) 山田順造	1962. 12. 2	陳惠夫誕生日と母方一家の現状についての調査の現況を報告
126	(東京・中央区) 東京都商工信用金庫	(〃) 〃	1962	払込案内
127	(アメリカ) 陳 沢祥	(千代田区・交通公社ビル) 〃	1963. 12. 17 消印	クリスマスカード兼年賀状
128	(青森市) 菊池節子	(練馬区関町) 〃	1964(?) 3.25	順造からの悔み、香料への礼状
129	(東京・世田谷区) 徐 逸然	(〃) 〃	1964. 12. 14	りんご送付に対する礼状
130	(アメリカ) 陳 沢祥	(千代田区新東亜交易会社) 〃	1964. 12. 20 消印	年賀
131			1964. 12	クリスマスカード兼年賀状
132	(台湾・台北) 陳 惠夫	(千代田区新東亜交易会社) 山田順造	1965. 6. 2 消印	娘とその子供が東京に行くので、宿泊等の手配を依頼している
133	(東京・目黒区) 張 季飛	(東京・練馬区関町) 〃	1965. 6. 17	順造が三菱商事で台北関係の仕事をするようになったことを喜んでいる
134	(東京・大田区) 莊 寓	(〃) 〃	1965. 6. 19	順造の台北支社赴任に対するお祝い
135	(台湾・台北) W. F. Chen	(千代田区新東京ビル) 〃	5. 8 消印	(本文一部欠)

136	(青森・黒石市) 宇野たか	(東京・練馬区関町) 山田順造	12.28	近況報告
137	(東京・練馬区) 世界情勢研究会	(東京私書箱22号) 〃	1978. 11. 9 消印	「孫文先生生誕百十三年並びに『孫文思想』発刊記念祝賀御案内」
138	(台湾・高雄市) 陳 仏護	(練馬区関町) 〃	1979. 10. 6 消印	(金門島戦役大勝三十周年の) 記念切手・封筒の案内
139	(東京・渋谷区) 寄君カントリー 倶楽部	山田順造 山田悦子	1979. 11. 5	預り証券受取証(未使用)
140	(世田谷区関東中央病院) 門田耕成	(練馬区関町) 山田順造	1979. 11. 22	中国での逸話のメモ
141	人事第二部 厚生チーム	各位	1979. 11. 26	「(新)健康保険被保険者証ご送付の件」
142	(在台湾)	山田順造	1981.8月以降	順造の訪問願いに対する了承の通知、台湾での飛行機事故にもふれる
143	陳 仏護	山田順造 夫人	1981. 10. 16	近況報告
144	内堀敏夫	山田順造	11.13	同窓会の写真送付通知
145	(東京・杉並区) 明和産業株式会社			営業案内
146	(東京・世田谷区) 門田耕成	(練馬区関町) 山田順造	1979. 11. 13	(封筒のみ)

147	(台湾・高雄市) 陳 弘護	(東京・練馬区関町) 山田順造	1979. 12. 12 消印	(封筒のみ・「印刷品」の印アリ)
148	(八王子市創価大学教員宿舍) 徐 祖瓊	(〃) 〃	1983. 10. 18	帰国挨拶(復旦大学へ)、純三郎のことにもふれている
149	(東京・杉並区) 藤野 格	(〃) 〃	1984. 6. 6	県人会出席に対する礼状 当日の写真送付
150	(埼玉・川口市) 林 俊夫	(〃) 〃	1984. 6. ?	株式会社証券日刊新聞社封筒
151	(兵庫・西宮市) 佐藤泰司	(練馬区関町南) 〃	1984. 7. 2	「鳩居学校」封筒?
152	(台湾・嘉義県) 陳福龍・林寿梅	(練馬区関町) 山田順造, 夫人	1984. 12. 21 消印	(未開封)
153			1985. 4. 6	新聞切抜(新聞名不明)「福田幸弘の月曜直言 海軍乙事件(続)」
154	(東京・品川区) 頭山興助	(練馬区関町) 山田順造	1985. 8. 2 消印	「返済」と記(封筒のみ)
155	(東京・港区) 中山学会日本総会	(〃) 〃	1985. 8. 9 消印	(封筒のみ)
156			1985. 10. 22	新聞切抜(サンケイ新聞コラム) 「サンケイ抄」蔣介石について
157	(埼玉・川口市) 林 俊夫	(練馬区関町南) 山田順造	1986. 1. 6	(封筒のみ)

158	(東京・新宿区) 大串俊雄	(東京・練馬区関町南) 山田順造	1986. 1. 18 消印	(封筒のみ)
159	(東京・武蔵野市) 馬淵誠剛	(練馬区関町) 〃	1986. 2. 4	(封筒のみ)
160	(青森・弘前市) 相沢文蔵	(練馬区関町南) 〃	1986. 2. 17 消印	差出人の上に「手塚家要一の姉の子明方地まつ」とあり(封筒のみ)
161	社団法人滬友会 会長 大石明信	〃	1986. 2	年会費と寄付金について
162	(川崎市宮前区) 土門義男	(練馬区関町南) 〃	1986. .24 消印	(封筒のみ)
163	桑山美津子	〃	2. 21	(封筒のみ)
164	(台北市光復南路) ?	(練馬区関町) 〃	1986. 1. 5 消印	(封筒のみ)
165	久保田文次	山田	1991. 7. 15	近況報告とテレビ特別番組の感想
166	結束博治	山田順造	1989以降7.10	山田兄弟伝出版について
167				新聞切抜(新聞名不明)「園芸相談シャコバサボテンを元気に」
168	(台湾・高雄市) 陳 嫦嬌	(練馬区関町) 山田順造・夫人		(封筒のみ・切手、消印部分切取)

169				同文書院同窓会名簿?コピー
170	(東京・昭島市) 山田 忠	(東京・練馬区関町) 山田順造	1978. 7. 3	履歴書送付への返書
171	(福岡・国際文化福祉協会) 杉山龍丸	(〃) 〃	1978. 11. 23	近況報告
172	(東京・千代田区) 新東亜交易KK	(〃) 〃	1979. 8. 29	社史編纂資料寄贈願い
173	(埼玉・川口市) 林 俊夫	(〃) 〃	1980. 6. 14	著作出版に関し、山田忠から来た許可の手紙を順造に転送
174	(長崎市) 間 元章	(〃) 〃	1981. 8. 5	暑中見舞、近況報告
175	(東京・品川区) 世界情勢研究会	(〃) 〃	1981. 10	辛亥革命70周年記念会招待状
176	(埼玉・川口市) 林 俊夫	(練馬区関町南) 〃	1985. 7. 30	近況報告
177	(東京・目黒区) 中村上次	(練馬区関町) 〃	1986. 3. 18	西からの礼状をコピーして転送
178	(福岡・太宰府市) 杉山満丸	(練馬区関町南) 〃	1986. 3. 消印	父(龍丸)への見舞に対する礼状
179	(茨城・新治郡) 金井恵子	(練馬区関町) 〃	1986. 6. 27	相沢関係資料送付礼状及び自らの著作中の誤記に対するわび状、写真同封

180	(長崎市) 間 元章	(東京・練馬区関町南) 山田順造	1988. 9. 3	残暑見舞、近況報告
181	(青森・弘前市) 相沢文蔵	(*) ◇	1990. 5. 18	順造及び山田家への激励・忠告・意見
182	(東京・武蔵野市) 中村佐和	(*) ◇	1990. 11. 19	陳(沢禎?)紹介等への礼状
183	(埼玉・東松山市) 保阪正康	(*) ◇	1990. 12. 21	陳沢禎著作刊行や、自らの研究計画を述べている
184	(大阪・浪速区) 鳳 潔中	(*) ◇	7. 14	娘の就職?への協力依頼
185				張群、何応欽の純三郎ら招待の際の名簿、良政詩?(名刺9人分)
186				純三郎訪台、総統就任式参列の際の招待関係資料
187	(東京・杉並区) 松本 清	(練馬区関町) 山田順造	1958. 12. 22 消印	年賀断り状
188	(東京・中央区) 山本海苔店	(*) ◇	1958. 12. 23	品物発送通知
189	(長崎市) 関根まち	(*) 山田順三 ^(マ)	1958. 12. 23	年賀断り状
190	(東京・新宿区) 長崎直忠	(*) 山田順造	1959. 1. 1	◇

191	(東京・杉並区) 神作喜夫	(東京・練馬区関町) 山田順造	1959. 1. 6 消印	年賀断り状
192	(東京・中央区) ゼネラルテレビ サービス	(〃) 〃	1959. 1. 8	テレビ局増加によるアンテナ改造案内
193	(〃) 野村証券KK	(〃) 〃	1959. 1	株式事務取扱開始の通知
194	(東京・千代田区) 稲脇修一郎	(〃) 〃	1959. 3. 30	転居通知
195	(千葉・市川市) 加藤謙一	(〃) 〃	1960. 6. 27	見舞礼状
196	(神奈川・藤沢市) 林 守之	(〃) 〃	1961. 12. 11	歳暮礼状、近況報告
197	(東京・文京区) 高垣勝次郎	(〃) 〃	1961. 12. 11	歳暮礼状
198	(東京・中野区) 寛 操	(〃) 〃	1961. 12. 22 消印	〃
199	(千葉・我孫子町) 津田静枝	(〃) 〃	1963. 9. 14	順造の勤務先を訪問の際、不在だった
200	(〃) 〃	(〃) 〃	1963?12. 15	礼状
201	(埼玉・熊谷市) 小林千代	(東京・新東亜交易KK) 〃	1964. 4. 6	礼状

202	(石川・金沢市) 津田静枝	(東京・練馬区関町) 山田順造	1964. 7. 17	暑中見舞
203	忠正	(〆) 〆	1964. 7. 26 消印	北海道滞在の近況報告
204	(石川・金沢市) 津田静枝	(〆) 〆	1964. 8. 5	近況報告
205	悦子	(〆) 〆	1964. 11. 6	〆 (九州を旅行中)
206	原藤四郎	(東京・三菱商事KK) 〆	1965. 8. 8	〆 (台北到着直後)
207	杉山龍丸	(練馬区関町) 〆	1965. 8. 12 消印	暑中見舞、 ユネスコ協会より中国革命の資料を求められたとある
208	江草良之	(〆) 〆	1978. 11. 24	「高雄会」開催通知
209	(千葉・市川市) 菊池右享	(〆) 〆	1978. 12	年賀断り状
210	(大阪・枚方市) 市川 博	(〆) 山田順三 ^(ママ)	1981. 8. 30 消印	転居通知
211	(東京・多摩市) 村岡正三	(〆) 山田順造	1981. 12. 7 消印	年賀断り状
212	林 俊夫	(〆) 〆	1982. 9. 9 消印	資料(コピー)送付礼状

213	(東京・多摩市) 村岡正三	(東京・練馬区関町) 山田順造	1982. 12. 11	歳暮送付礼状
214	(千葉・市川市) 伊藤利雄		1983. 2. 24	転居通知
215	(広島市西区) 山根良男	(練馬区関町) 山田順造	1983. 9. 2 消印	「俣野先生」より純三郎のことをうかがったとのこと
216	(東京・世田谷区) 幅館卓哉	(〃) 〃	1983. 11. 4	近況報告
217	(青森・八戸市) 辻 舜一	(〃) 〃	1983. 11. 21	葬儀礼状
218	(東京・世田谷区) 北村和枝	(〃) 〃	1983. 12. 9	歳暮送付、墓参礼状
219	(札幌市北区) 市江アヤコ	(〃) 〃	1983. 12. 10 消印	年賀断り状
220	(東京・千代田区) (財)霞山会	(〃) 〃	1983. 12. 13	新年交歓会案内状
221	(埼玉・北葛飾郡) 山田修一	(〃) 〃	1983. 12. 14 消印	(喪中につき)年賀断り状
222	(青森・弘前市) 秋元掃雲	(〃) 〃	1983. 12. 15 消印	歳暮礼状と阿部の近況について
223	(神奈川・茅ヶ崎市) 横須賀敏夫	(〃) 〃	1983. 12. 19	歳暮送付礼状

224	(青森・弘前市) 八木橋武実	(東京・練馬区関町) 山田順造	1983. 12. 19	歳暮礼状
225	(神奈川・茅ヶ崎市) 田中玲瓏	(〆) 〆	1984. 2. 17	山田良政碑に関する宮崎滔天の文章を滔天全集で見つけた
226	(中国・北京市) 森田 貴	(〆) 〆	1984. 3. 1 消印	北京赴任挨拶状
227	(東京・調布市) 藤岡 瑛	(〆) 〆	1984. 3. 25	同窓会?提案状
228	(東京・調布市) 木村隆吉	(〆) 〆	1984. 4. 5 消印	退職に際しての礼状
229	(千葉・市原市) 黒江道夫	(〆) 〆	1984. 4. 20	病気見舞礼状
230	(財)霞山会	(練馬区関町南) 〆	1985. 6. 26	「定例午餐会のご案内」
231	(東京・台東区) 結城四郎	(〆) 〆	1985. 7. 29 消印	暑中見舞
232	(東京・千代田区) 反田邦治	(練馬区関町) 〆	1985. 7. 30 消印	〆
233	(東京・千代田区) (財)霞山会	(練馬区関町南) 〆	1985. 8. 14	「定例午餐会のご案内」
234	(千葉・我孫子市) 田中道子	(〆) 〆	1985. 8. 17	(同文書院の?)写真送付礼状

235	(東京・練馬区) 成塚一二	(東京・練馬区関町) 山田順造	1985. 9. 6 消印	「実生会九月例会通知」
236	(名古屋市東区) 石塚守男	(練馬区関町南) 〃	1985. 9. ?	名古屋赴任挨拶状
237	(神奈川・相模原市) 松田鑑三?	(練馬区関町) 〃	1985. 10. 28 消印	墓参り欠席願
238	(東京・三鷹市) 林 茂	(練馬区関町南) 〃	1986. 2. 10	転居通知
239	(青森・弘前市) 相沢文蔵	(〃) 〃	1986. 3. 5	資料(回想録・親族一覧)送付の礼状
240	(東京・多摩市) 村岡正三	(〃) 〃	1986. 3. 17 消印	訪問同行(行先不明記)に対する断り状
241	(横浜市磯子区) 中沢延子	(〃) 〃	1986. 8. 4 消印	暑中見舞、転居通知
242	(横浜市港北区) 津守和信	(〃) 山田順造・悦子	1987. 7. 6 消印	〃
243	(東京・台東区) 結城四郎	(〃) 山田順造	1987. 8. 4 消印	〃
244	(東京・港区) 高垣満寿子	(練馬区関町) 〃	1988. 12. 13 消印	歳暮礼状
245	(東京・品川区) 鈴木健太郎	(〃) 〃	1990. 2. 9	依頼の件報告

246	(青森・弘前市) 相沢文蔵	(東京・練馬区関町南) 山田順造	1990. 12. 17	歳暮礼状
247	(熊本・菊池郡) 蔵居良造	(*) 〃	1990. 12. 18	近況報告
248	(千葉県) 岩田冷鉄	(*) 〃	8. 3	要請されたことへの返事
249	(熊本・菊池郡) 西本克三	(*) 〃	10. 10	純三郎記念館設立について、思い出を述べている
250	山田順造	大津・前田・藤岡他 計11名	1985. 8. 7	文章「終戦40年を迎えるにあたり」を諸先輩に送付
251	①藤野 格 ②長谷川伸一	①②とも 山田順造	① 86. 12. 5 ② 87. 1	①県人会出席礼状及び日向茂八郎宅訪問時のこと ②バイユ・モスク復興賛助金願い
252	山田順造	久保田文次	1988. 12. 7	史料送付礼状(後半欠)
253	〃	内海清次郎	1989. 2. 5	純三郎に関する質問への返書
254	〃	各編纂委員	1989. 2. 16	大正期の純三郎の広東での行動
255	〃	(法律文化社編集部) 田藤純子	1989. 5. 13	「孫文「大アジア主義」講演資料集」中の誤りの指摘
256	〃	土門義男	1989. 6. 22	近況報告

257	山田順造	保野仁一	1989. 6. 22	近況報告
258	◇	波多野善大 本庄比依子	1989. 7. 27	東洋文庫紹介の礼状及び研究の現況報告
259	◇	編集委員	1989. 9. 27	祖先調べの理由や現在の心境
260	◇	◇	1989. 10. 27	10月編集委員会の内容報告
261	◇	栗田尚弥	1989. 11. 1	祖先関係の補足説明及び近況報告
262	◇	(編集委員)	1989. 11. 7	「孫文と横浜」展報告
263	◇	編集委員	1989. 11. 27	11月編集委員会の内容報告
264	◇	桑山美津子 竹内美蓉	1989. 11. 27	「孫文と横浜」展報告
265	◇	大申俊雄	1989. 11. 29	書院22期生大旅行誌中のコピー送付礼状、当時の純三郎に関するエピソードを紹介
266	◇	佐藤慎一郎	1989. 12. 9	講義関連史料送付願への承諾状
267	◇	佐藤慎一郎 阿部 弘	1989. 12. 10	コピー数件を送付、阿部の山本条太郎伝送付への礼状

268	山田順造	佐藤慎一郎	'89. 12. 14 '90. 1. 1	コピー数件を送付
269	々	編集委員	1990. 1. 2	良政のことについて期限までに書けなかったことへのわび状及び孫文記念館について（手書き地図付）
270	々	中村 義 （写 相沢文蔵 細郷弥市）	1990. 1. 8	伝記編纂や「孫文と横浜」展へのお礼が遅れたことへのわび状
271	々	池田一雄 （写 金子文麿）	1990. 1. 12	金子克己関連写真コピー送付通知及び同氏との思い出等
272	土門義男	山田順造	1990. 4. 30	近況報告及び写真返還通知
273	①②とも 山田順造	①蔵居良造 ②鈴木隆康	1988. 4. 16	①②とも蔵書・資料リストアップを早急に行なう旨通知
274	山田順造	鈴木隆康	1988. 4. 16	No. 273 ②に同じ
275	（山田順造）			伝記執筆の経過
276	々			純三郎、蒋介石、丁仁傑の満州での動き（1914. 7～9月）
277	々			資料の出品や各氏の動向（書きかけ）
278	々			資料集編纂の手順（書きかけ）

279	(山田順造)			履歴書(書きかけ)
280			1992. 1. 15 付	「夕刊フジ」切抜(保阪正康氏記事)コピー
281	(亜東関係協会駐日代表) 馬 樹礼	(東京・練馬区関町) 山田順造	1979. 12. 25	年賀状
282	(台北・懷寧街) 大生行股份有限公司	(〃) 〃	1981. 11. 30	〃
283	陳曉規・葉淑奇	(〃) 〃	1981. 11. 30	〃
284	(台北) 張超伯・姜蓉淑	(〃) 〃	1981. 12. 1	〃
285	(台北・信義路) 陳 良	(〃) 〃	1981. 12. 15	〃
286	(台湾・苗栗鎮) 徐 册母	(〃) 〃	1981. 12. 10	〃
287	(台北・龍江路) 洪 仏影	(〃) 〃	1981. 12. 11	〃
288	(台北・仁愛路) 羅克典・何勵予	(〃) 〃	1981. 12. 16	〃
289	(永發順企業股份有限公司) 游 石虎	(〃) 〃	1981. 12. 16	〃

290	(台湾・苗栗鎮)	(東京・練馬区関町) 山田順造	1981. 12. 20	年賀状
291	(東京・品川区) 陳沢禎・鄧肅媛	(*) ◇	1981. 12. 23	◇
292	(台北・民生東路) 陳国雄・陳貴貞	(*) ◇	1981. 12	◇
293	蔣緯国・丘如雪	(*) ◇	1983. 12. 14	◇
294	(台北華岡文化大学) 宋 越倫	(*) ◇	1989. 12. 6	◇
295	馬樹礼・呉為琳	(*) ◇	1989. 12. 9	◇
296	(台北・三重市) 林 定	(*) ◇	1989. 12. 11	◇
297	(高雄市・中正四路) 唐傅宋・唐嘉宏	(*) ◇		◇
298	陳仏護・王玉鳳	(*) ◇		◇
299	蔣経国・蔣方良	(*) ◇		◇

(2) 資料ファイル

1. 前回の資料ファイルにおいて、1 “ファイルの分類とタイトルの有無” のなかで、ファイルA “山田氏がタイトルをつけたファイル” の仮番号の中にNo. 309を加える。同じくファイルEにNo. 127を加える。
2. タイトルのみあって、中身の無いファイル42点を一括してファイルHとし、今後の整理の際に利用する。なお、通し番号は前回に続けてNo. 601よりはじめる。
3. 資料ファイルA、Eに各1タイトルを追加し、該当番号に ` を付した。
4. 山田純三郎年譜は資料ファイルF-88として山田順造が執筆したものである。若干手を加えて発表した。※は原注。

新規資料ファイル

分 類	形 式	総 数	山田氏がタイトルをつけたファイルの仮番号	タイトルをつけていないファイルの仮番号
ファイルH	ノートファイル	42	H 1~42	

ファイルH

通し番号	タ イ ト ル 名	ファイルのタイプ	仮 番 号
	【あ】		
601	亜細亜復興会(孫先生直筆)	A	H- 5
	【い】		
602	犬養毅や頭山満は孫文らの中国革命を助けたか	A	H-18
	【お】		
603	岡村～何応欽会談(戦後)	A	H-10

	【か】		
604	家系探査の旅	A	H-7
	【け】		
605	惠州起義	D	H-30
	【こ】		
606	近衛日記	A	H-25
	【さ】		
607	雑誌 上海	A	H-19
608	佐藤慎一郎 S62.5 講演原稿	A	H-15
	【し】		
609	実物	E	H-42
610	「支那」昭和十年	D	H-32
611	「支那」大事記 大正五年	D	H-31
	【そ】		
612	祖先関係(山田姓について)	A	H-22
613	祖先 雑	E	H-40
614	孫文先生夫妻故居	A	H-14
	【た】		
615	対支回顧録綴り	E	H-37
616	大正前半コピー等資料	A	H-11
617	大正年間 広東時代	E	H-39
	【ち】		
618	中華週報	A	H-12
619	中国関係 小伝綴り	A	H-6
620	張学良 辛研 H3.1.16	A	H-2
621	陳其美先生	A	H-21

	【つ】		
622	津軽藩関係資料 津軽の武士道	E	H-35
623	津軽藩関係 八木橋武実様 山田浩蔵 横山家 後藤家	E	H-36
624	津軽藩旧伝記類	E	H-41
625	津軽藩	E	H-38
	【と】		
626	東京日日新聞 明治三十一年八月～十一月	D	H-34
	【な】		
627	南京政府の正体 山田純三郎	A	H-16
	【ひ】		
628	弘前藩 山田家代々居住図面	A	H-4
	【ふ】		
629	藤井昇三先生より	A	H-13
	【ほ】		
630	戊戌政変後の山田良政の心情を憶う	A	H-17
	【み】		
631	宮崎滔天兄弟(祖国)	A	H-9
	【め】		
632	明治ニュース辞典 明治31年～明治35年	D	H-33
	【や】		
633	山田・菊地動静	A	H-1
634	山田兄弟伝記編纂委員会	A	H-20
635	山田家記念館計画資料	A	H-23
636	山田純三郎(四)	B	H-26
637	山田純三郎(四)	B	H-29
638	山田純三郎(五)	B	H-27

639	山田純三郎(五)	B	H-28
	【よ】		
640	要コピー	A	H-3
641	横山家(青森県立郷土館)	A	H-8
	【り】		
642	良政関係	A	H-24

資料ファイル追補分

ファイルA

	【ほ】		
228'	盆栽 同好会勉強資料	I-D-1	A-309

ファイルE

	【や】		
577'	野菜	II-B-1	E-127

山田純三郎年譜

西 暦	日本年号	中国年号	月 日	事 項
1876年	明治9年	光緒2年	5月18日	(山田家の三男として出生) 父山田浩蔵、母きせ 原籍地 青森県弘前市蔵主町14番地 出生地 青森県弘前市在府町
1888年?	明治21年	光緒14年		朝陽小学校卒業
?	明治?年	?		東奥義塾中等部入学
1896年	明治29年	光緒22年	* * *	東奥義塾中等部卒業 札幌農学校入試失敗 機関車掃除夫となる(北海道) 東京に出る(東海勇蔵?氏の激励の書状が上京をうながす)

1899年	明治32年	光緒25年	夏 8月9日	兄良政と孫文は神田三崎町の仮寓にて会見、純三郎 盗み見る 東亜同文会留学生として(南京同文書院)上海に渡る ※要調査 ※井出三郎氏に関連あり ※城内復成倉の劉公館に努める佐々木四方志宅に収容、中国語の研修
1900年	明治33年	光緒26年	1月 春 5月 7月	南京に移る 上海旭館にて良政に紹介されて孫文と会う 開校式 ※北極閣下の支那寺院妙相庵を借用開校? 上海に移る ※「対支回顧録下巻」佐々木春尾女史 974頁～976頁
1901年	明治34年	光緒27年	4月	上海東亜同文書院事務員兼助教授を委嘱せらる
1904年	明治37年	光緒30年	5月16日	陸軍通訳第九師団附を命ぜらる(高等官七等待遇月俸七拾圓)
1905年	明治38年	光緒31年	7月27日 10月12日	月俸七拾五圓を給せらる 関東州民政署より満州各地へ出張を命ぜらる、同時に満州利源調査委員附を命ぜらる
1906年	明治39年	光緒32年	1月12日 1月22日 4月	満州利源調査委員附を免ぜらる 讃岐丸にて第九師団司令部と共に神戸に凱旋する 明治37年戦役の功に依り勲六等単光旭日章?及び金參百五拾圓を賜る。同等に27、8年戦役従軍紀章授与せらる
1907年	明治40年	光緒33年	1月 4月 5月	上海東亜同文書院教授を委嘱される 上海東亜同文書院教授を辞す(南満州鉄道株式会社入社のため) 南満州鉄道株式会社に入社、総裁秘書 同社地質課勤務(課長木戸孝太郎氏)
1909年	明治42年	宣統1年	2月	同社奉天鉱業課出張所長に任ぜらる
1910年	明治43年	宣統2年	5月	同社上海出張員となる ※革命当初の経緯「対支回顧録」1270頁、藤瀬政治郎
1911年	明治44年	宣統3年	12月 12月21日 12月25日	宮崎滔天と孫文を迎えるべく上海より香港に行く 孫文と香港より同船 孫文と上海に帰る
1913年	大正2年	民国2年		※大連「東亜先覚志士記伝?」520頁～23頁
1915年	大正4年	民国4年	9月 11月 12月5日	民国日報(漢字新聞)を組織し社長となる 大礼紀念章を授与せらる ※上海機器局砲撃「東亜先覚志士記伝」598～611頁 肇和、広瑞二艦奪取計画?

1916年	大正5年	民国5年	5月18日 6月 7月 11月30日	陳其美 袁世凱の刺客に襲われ、フランス租界山田純三郎邸にて暗殺され、長女民子は、このため生涯の不具となる 湖南の鉱山調査に向う ※「藤瀬政五郎伝」1275頁 南満州鉄道株式会社を辞す 湖南と広州の境、?州で黄興の病死の悲報を受ける
1918年	大正7年	民国7年		※大正七年 住所上海法界環龍路四号 ※広東省茂名県オイルセール開発に奔走する
1923年	大正12年	民国12年	11月	孫文より犬養宛書 携行する?
1925年	大正14年	民国14年	3月12日 5月 8月	※孫文死す 広東日報社長となる(在広東日文新聞) 広東に於ける水兵事件処理に尽力する? 大正十四年以降 外務省より月手当支給さる
1926年	大正15年 昭和1年	民国15年	9月	民国日報社長を辞す
1927年	昭和2年	民国16年	3月 7月	広東日報社長を辞す 満州鉄道株式会社上海事務所嘱託となる 上海毎日新聞社長となる
1928年	昭和3年	民国17年	11月16日	大礼記念章を授与さる
1929年	昭和4年	民国18年	4月 9月	上海毎日新聞社長を辞す 昭和二、三年支那騒乱事件、昭和三年支那事変に関し勤労不働にて?海軍大臣杯(銀杯)一組を贈与さる
1930年	昭和5年	民国19年	6月 10月	江南晩報 都合により停刊する 純三郎 北京(写真により)
1931年	昭和6年	民国20年	6月20日 6月24日	国民政府外交部顧問(外交部長陳友仁?)広東 国民政府顧問
1932年	昭和7年	民国21年	4月	江南晩報を江南正報と改題、再刊、社長となる
1933年	昭和8年	民国22年	4月30日 9月1日	停刊 再刊
1935年	昭和10年	民国24年	6月 7月	江南正報廃刊する 南満州鉄道株式会社総裁室嘱託となる 上海駐在海軍武官室より月手当支給さる

1936年	昭和11年	民国25年	4月 4月	上海日語専修学校校長となる(北四川路) 雑誌「上海」の上海雑誌社社長となる 昭和六年及同九年事変に於ける功に依り、銀杯老個?贈られ、並びに従軍記念章令?の旨に依り従軍記章を授与せらる
1937年	昭和12年	民国26年	8月	上海駐在海軍武官室月手当を辞す
1938年	昭和13年	民国27年	9月	大同市政府?関連陸軍による王子恵?擁立に◎◎コノミ某?(後の東京温泉社長)拳銃によるおどしにも拘らず自説曲げず 土肥原機関囑託となる
1939年	昭和14年	民国28年	12月	土肥原機関解散と同時に辞す
1940年	昭和15年	民国29年	4月3日 11月	近衛公に講ずる進言 ※近衛公に講ずる進言草稿 全面和平之私見 紀元二千六百年紀年祝典に海外功労者として菊地豊吉氏、福田(居留民)?と共に参列する 二千六百年祝典記念章授与さる
1943年	昭和18年	民国32年	10月	支那事変の功に依り木杯?一組下賜せられ同時に従軍記念章授与さる
1944年	昭和19年	民国33年	2月11日 3月6日 3月8日 3月8日 10月 12月	大陸新聞社より大陸賞を贈らる 上海日本語専門学校長を命ぜらる(日本大使館) 在華谷特命全權大使より在華優良邦人として表彰状を授与さる 国民政府より嘉許状並びに銀五拾万元授与さる 〔自前清光緒三十三年來華追隨國父尽瘁中国革命運動厥功甚鉅〕 上海日語専修学校と上海日本語専門学校を合併し、上海大東学院と改組、その院長を命ぜらる 雑誌「上海」を雑誌「大陸」と合併し、その顧問となる
1946年	昭和21年	民国35年	8月	残留日僑互助会会長となる
1948年	昭和23年	民国37年	12月7日	上海引き揚げと同時に会長を辞任する
1960年*	昭和35年		2月18日	〈東京の自宅で死去〉